
「アナフィラキシー症例に関する実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会の承認を得て、研究実施機関の長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023年1月1日から2023年12月31日の期間に、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科を受診したアナフィラキシーの患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

アナフィラキシーは重篤な全身性の過敏反応で、通常は急速に発現し、死に至ることもあります。しかし、日本における疫学調査の報告は稀であり、その実態について十分に明らかになっていません。そこで、今回、思春期、成人期を中心としたアナフィラキシーの実態を把握するため、日本皮膚免疫アレルギー学会主導で、日本アレルギー学会の協力を得ながら調査を行います。

3. 研究期間

研究実施機関の長の許可後～2028年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年4月4日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究は、新たに患者さんから検体を採取したり投薬をしたりすることはなく、これまでの外来診療でのカルテの記載を解析して行う研究です。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科において、研究実施者である高村 さおりが管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

アナフィラキシーと診断された患者さんの診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

<研究代表者>

日本皮膚免疫アレルギー学会 蕁麻疹・肥満細胞専門部会部会長
昭和大学医学部皮膚科学講座 猪又直子

<共同研究機関>

- ・大阪医科薬科大学医学部感覚器機能形態医学講座 皮膚科学准教授 福永 淳（研究責任者）
- ・関西医科大学医学部皮膚科学講座 教授 谷崎英昭（研究責任者）
- ・京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学 准教授 益田浩司（研究責任者）
- ・日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野 助教 葉山惟大（研究責任者）
- ・広島大学大学院医系科学研究科皮膚科学 講師 高萩俊輔（研究責任者）

<既存試料・情報の提供のみを行う機関>

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり（研究責任者）
埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 秋元 隆太（研究実施者）

他 240 施設

4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

<提供先機関> 昭和大学医学部

5. 試料・情報の提供方法等について

情報は各症例について個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し符号化し、EXCELに入力する。EXCEL ファイルはパスワードロックをかけて、昭和大学医学部皮膚科学講座の E メールアドレス (derma@med.showa-u.ac.jp) 宛てにメールで送信する。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3637（土日祝日を除く 9 時～17 時）

○研究課題名：アナフィラキシー症例に関する実態調査

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり